
キミが居るから

遠原哀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミが居るから

【Nコード】

N4292H

【作者名】

遠原哀

【あらすじ】

蘭の嬉しさ―気持ち―そんな事をまとめてみました。
すっ 下手くそでも平気な人、読んでください
初投稿で

今日の空——濁りのない青だった。気分がよくて気持ちいい……。この空の色は今考えると私の今後を表してたみたいだった。

その良い出来事っていうのは……

最近全然新一から連絡がない……大丈夫なのかな？元気にしてるかな？アイツの事考え出したら止まらない。「……ん！蘭！どうしたの？！」「え……？」

私は……今頭の中にはアイツの事しかなかった。

「どうしたの？！蘭……？」

私の顔を園子が覗き込む。「ううん。なんでもないよ」「ホントに？最近おかしいよ？」

「ううん。何もないわよ……」「ならいいけど……」

言えない……いくら園子でも……こんな事……。ホントにバカみたい。こんな事しか考えられない——

こんなに悲しい気分、初めて。ため息をつきながらスーパーで買い物をする。スーパーからの歩き慣れた帰路。何も考えずに歩いてると

「オイ、素通りかよ？」

聞き慣れた声がした。この声は――

「し…し…新一?!」

間違えるハズない。この声だけは。

「悪かったな…今まで…」

次の瞬間、私は新一に抱き着いた。どうしても分らない―でも体が勝手に動いていた。

「蘭…」

新一が私を抱きしめる。

「もう…もう居なくならないで!ずっと…ずっとずっと一緒に居て!」

「言われなくてもそうするよ…」

私は決心した

「あのね…新一…私―」

「蘭!オレおまえが好きだ!世界中の…誰よりも…」

「私も…私も新一の事大好きだよ…」

1時間後

私は新一の話を聞いていた。江戸川コナン「工藤新一だという事、謎の組織の事、哀ちゃんの事―すべてを話してくれた。コナン君が新一だという事は予想してたけど、やっぱり驚いた。聞き終わった時、私は気付いた(確か…確か、温泉に行った時、私…コナン君と

…)

この後新一が被害に会った事は言う間でもない。

でも…何があっても私は新一が居るから生きていける。

新一がいるから今の私が居る。

新一…新一がいなかったら私、良い事何もなかったよ…。

—END—

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4292h/>

キミが居るから

2010年12月9日14時43分発行